



# 自治労都市公共交通評議会 第4回研集会報告

## 交通局運営方針及び現業職場職員の健康管理について学んだ!

二〇一七年七月二十五日(火)ANAクラウンプラザホテル京都で七〇人が参加し、研集会が開催された。主催者として、瀬戸高志議長(京交執行委員長)が①九州地方の大雨災害について②国会集中審議について述べられた後、大阪市営地下鉄の民営化について触れられ、京都においても危惧するとし、今後の都市交評運動について説明を行い挨拶に立った。来賓には自治労京都府本部から谷口富士夫副執行委員長が臨席され都市交評研集会の成功を祈念された。研集会では二つの講演が用意され、一部では京都市交通局山本登志一次長が「平成二十九年度交通局運営方針について」をテーマに経営の現状と課題や増収・増客の取り組みについて講演が行われた。観光客の増加などにより、旅客数は順調としながらも、地下鉄事業の累積資金不足や市バス事業の車両更新の費用など安堵出来ない状況であるとして、地下鉄・市バス合わせて一日八〇万人の目標に向け取り組みを進めると締めくくられた。二部では、京都予防医学センターから阿部圭子保健師が「現業職場に従事する職員の健康管理について」をテーマに睡眠と集中力の因果関係や一日のアルコール適量など、アンケートを行いながら、体験型の講演がされ、労働者の三分一を超える交代勤務について不規則な生活習慣で引き起こしやすい病気の予防について学んだ。研集会終了後は懇親会が開催され参加者で意見交換を行いながら懇親を深めた。最後に草川美佳京交青年女性委員長の発声で都市交評の発展を祈念しガンバロウ三唱を行い研集会が閉会した。



講演をされた阿部圭子保健師



講演をされた山本登志一次長 京都市交通局次長



挨拶に立つ瀬戸高志議長(京交執行委員長)

# 平和フォーラム報告 ~72年目を迎えた広島祈りの日~

「原爆の日」を迎えた八月六日は、広島に原爆が投下されてから七十二年目を迎え、「ヒバクシャ」の願いを込めた核兵器禁止条約が国連で採択されて初めての祈りの日となりました。京都平和フォーラムは、八月四日〜六日にかけて、被爆七十二周年原水爆禁止大会・広島大会に六名で参加しました。参加者は、初日の午後折鶴平和行進に参加し、全国から集まった単産・単組代表およそ三〇〇〇人と共に平和への願いを共有しました。その後、広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開催される総会に臨みました。二日目は、市内十八会場で開催される様々なテーマが用意された分科会に参加し、広島のみならず、日本国内、強いては世界規模の課題について議論が交わされました。三日目は、広島県立総合体育館(グリーンアリーナ)で開催される「まとめ集会」に参加し、三日間の日程を終えました。地元報道では、六日の平和祈念式典で平和宣言を読み上げる松井広島市長に触れ、「核保有国と非保有国との橋渡しに本気で取り組みたい」と述べたことに注目し、日本が条約締結促進を目指すべきなどの談話が寄せられていました。この一年で亡くなったたり、死亡が確認された原爆死没者名簿記載者数 五五三〇人、これまでに記載された人の数 三〇万八七二五人



田中 直人(特別執行委員)

二〇一七年七月二十八日(金)河原町三条にあるROUND1でレクリエーション活動としてボウリング大会を開催しました。勤務終了後や非番、公休など、沢山の方に参加して頂きました。ゲームは、五チームのチーム対抗戦とし、田中支部長の始球式を合図にスタートとなりました。チーム戦の形をとったことで、乗務支部へ来たばかりの若い組合員や、普段は係わりが少なかった組合員同士もすぐに打ち解け合っている、大いに盛り上がりましました。また、その後に行われた懇親会では、仕事上での不安や、職場での過ごし方、組合活動に対することなど意見交換を行い、大変有意義な時間となりました。これからもこのような結束力が高まるレクリエーション活動を積極的にを行い、さらなる団結力の拡大と強化に取り組みでいきたいと思えます。



# 烏丸線乗務支部 レクリエーション活動報告



二〇一七年八月十九日(土)・二〇日(日)の二日間第一弾文化体育事業の大秦映画村文化体験が実施されました。快晴の空の下、両日合わせて三二五人が参加し、映画村のアトラクションで文化体験をしながら家族と一緒に、夏休みの楽しい思い出を作りました。今回も夏休み期間中に開催されている「ひええ王国」や「水の迷路」をぜひ濡れになりながら体験しました。また、今年新たにオープンした忍者体験など常設のアトラクションと共に参加者は満喫しました。



二〇一七年八月十九日(土)・二〇日(日)の二日間第一弾文化体育事業の大秦映画村文化体験が実施されました。快晴の空の下、両日合わせて三二五人が参加し、映画村のアトラクションで文化体験をしながら家族と一緒に、夏休みの楽しい思い出を作りました。今回も夏休み期間中に開催されている「ひええ王国」や「水の迷路」をぜひ濡れになりながら体験しました。また、今年新たにオープンした忍者体験など常設のアトラクションと共に参加者は満喫しました。

# 平成29年度 第1弾文化体育事業報告

## \* ひええ王国「水の迷路」で夏休みの涼を満喫! \*



二〇一七年八月十九日(土)・二〇日(日)の二日間第一弾文化体育事業の大秦映画村文化体験が実施されました。快晴の空の下、両日合わせて三二五人が参加し、映画村のアトラクションで文化体験をしながら家族と一緒に、夏休みの楽しい思い出を作りました。今回も夏休み期間中に開催されている「ひええ王国」や「水の迷路」をぜひ濡れになりながら体験しました。また、今年新たにオープンした忍者体験など常設のアトラクションと共に参加者は満喫しました。

